

Mizuho Daily Market Report

2024/2/8

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	147.83	148.18	+0.24	+1.26
EUR	1.0772	1.0772	+0.0017	▲0.0046
AUD	0.6529	0.6520	▲0.0003	▲0.0048
SGD	1.3429	1.3433	▲0.0009	+0.0025
CNY	7.1919	7.1949	+0.0048	+0.0260
MYR	4.7626	4.7607	▲0.0070	+0.0277
THB	35.56	35.59	▲0.08	+0.12
IDR	15655	15635	▲95	▲145
PHP	55.96	55.96	▲0.24	▲0.34
INR	82.96	82.97	▲0.09	▲0.07
VND	24432	24419	+48	▲6

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.121%	+2.1 bp	+20.9 bp
日本(10年)	0.718%	▲0.5 bp	▲1.4 bp
ユーロ圏(10年)	2.316%	+2.4 bp	+15.0 bp
オーストラリア(5年)	3.698%	▲4.2 bp	+9.0 bp
シンガポール(5年)	2.877%	▲3.1 bp	+4.7 bp
中国(5年)	2.308%	▲2.7 bp	+1.4 bp
マレーシア(5年)	3.535%	▲0.3 bp	▲0.5 bp
タイ(5年)	2.351%	▲1.6 bp	▲1.6 bp
インドネシア(5年)	6.520%	▲0.9 bp	+1.3 bp
フィリピン(5年)	6.019%	▲4.4 bp	+3.2 bp
インド(5年)	7.044%	▲1.8 bp	▲3.2 bp
ベトナム(5年)	1.650%	+0.0 bp	▲10.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	38,677.36	+0.4%	+1.4%
N225(日本)	36,119.92	▲0.1%	▲0.5%
STOXX50(ユーロ圏)	4,678.85	▲0.3%	+0.7%
ASX(オーストラリア)	4,163.67	▲0.6%	▲0.2%
FTSTI(シンガポール)	3,156.15	+1.0%	+0.1%
SSEC(中国)	2,829.70	+1.4%	+1.5%
SENSEX(インド)	72,152.00	▲0.0%	+0.6%
JKSE(インドネシア)	7,235.15	▲0.2%	+0.4%
KLSE(マレーシア)	1,513.11	+0.0%	+0.0%
PSE(フィリピン)	6,830.04	+1.1%	+2.8%
SETI(タイ)	1,400.02	+0.2%	+2.6%
VNINDEX(ベトナム)	1,198.53	+0.8%	+2.9%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	270.35	+0.5%	▲0.8%
金	2,035.36	▲0.0%	▲0.2%
原油(WTI)	73.86	+0.8%	▲2.6%
銅	8,198.74	▲1.1%	▲3.5%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	147.00	—	149.00
EUR/USD	1.0720	—	1.0900
AUD/USD	0.6450	—	0.6650
USD/SGD	1.3340	—	1.3490
USD/CNY	7.1700	—	7.2100
USD/INR	4.7120	—	4.7700
USD/THB	35.00	—	35.90
USD/IDR	15600	—	15850
USD/PHP	55.80	—	56.60
USD/INR	82.70	—	83.60
USD/VND	24,300	—	24,600

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は147円台後半でオープン。前日の米金利低下の流れを引継ぎややドル売りが強まるも下値は限定的。その後はめぼしい材料のない中、147円台後半を中心に方向感なく推移。ドル売りの流れが一服すると、引けにかけてじりじりと値を上げ148円台を回復し、海外時間に渡った。アジア通貨はやや軟調。FRBによる早期利下げ観測の後退を背景に米ドルが3カ月ぶりの高値に迫る中、アジア通貨はやや軟調に推移している。

欧州時間のドル円はクロス円の上昇につれ小幅に上昇し米州時間入り。米州時間朝方は米地銀経営不安を巡り、前日に米格付け会社による格付けを引き下げられた事等が嫌気され、リスクオフの円買いから一時147円台半ばまで下落。しかし、円買いは長く続かず、その後コリンズ・ボストン連銀総裁の「利下げを支持するにはさらなるデータが必要」等との発言を受け、低下していた米金利が上昇する動きに追随し、148円近辺まで戻す。米州時間午後にかけては米10年債の堅調な入札結果が上値を抑え、148円前半での膠着感強い値動きが続きクローズした。

【金利】

米金利市場は、小幅上昇。中期から長期にかけて僅かにフラット化。主要指標発表が少ないなか、前日に低下して終了した金利は、オーバーナイトでやや売り戻されたが、NY時間入り後は買われ、午後の取引では再度低下。前週に注目材料をいったん消化し、一服感が出たものの、来週に控える消費関連指標への様子見が既に始まっている感がある。10年債の入札結果はやや堅調だったが、市場には影響薄。

【予想】

本日のドル円は堅調な推移を予想。FRB当局者から利下げ期待を牽制する発言が先月から続く中、利下げ織込みの後退と共に米金利上昇・ドル高の流れを予想する。一方で、アジアが休暇シーズンに入ることに加え、来週13日には米CPIの発表も控える中、様子見ムードは強まりやすく値幅は限定的か。

【本日の予定】

(日本) 1月 マネーストックM2、M3
(日本) 1月 工作機械受注(速)
(日本) 国債入札(10Y)
(アジア) 1月 NZ ANZ Truckometer
(アジア) 1月 中国 資金調達総額 / 新規人民元建て融資
(アジア) 1月 韓国 対家計銀行貸出合計
(欧州) 1月 英 RICS住宅価格
(米国) 国債入札(30Y)
(米国) 新規失業保険申請件数

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権は必ずしも銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。